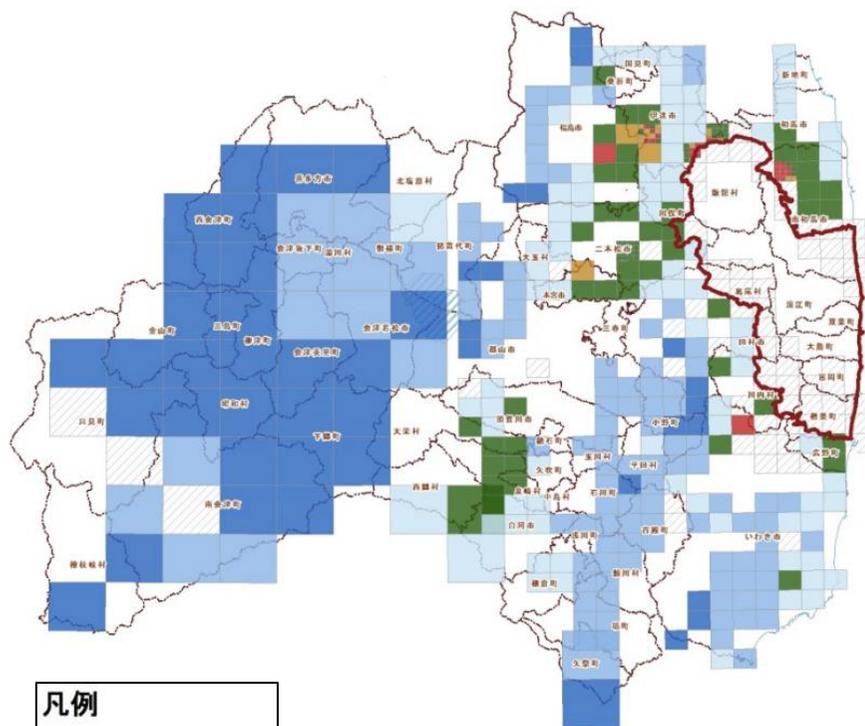
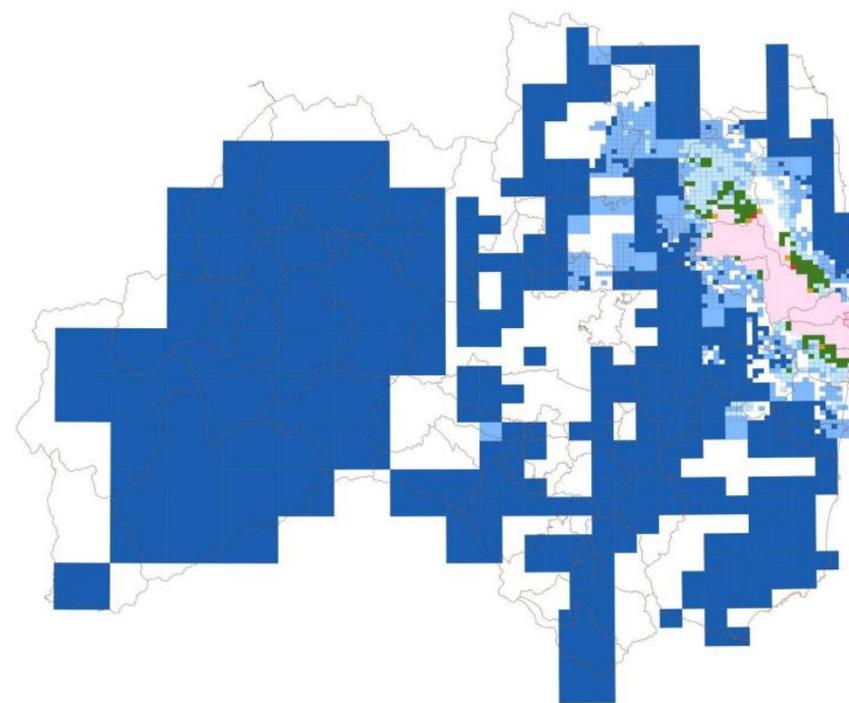


森林の空間線量率の変化

2023年3月時点の362箇所での空間線量率の平均値は、
2011年8月時点の値に比べて約19%



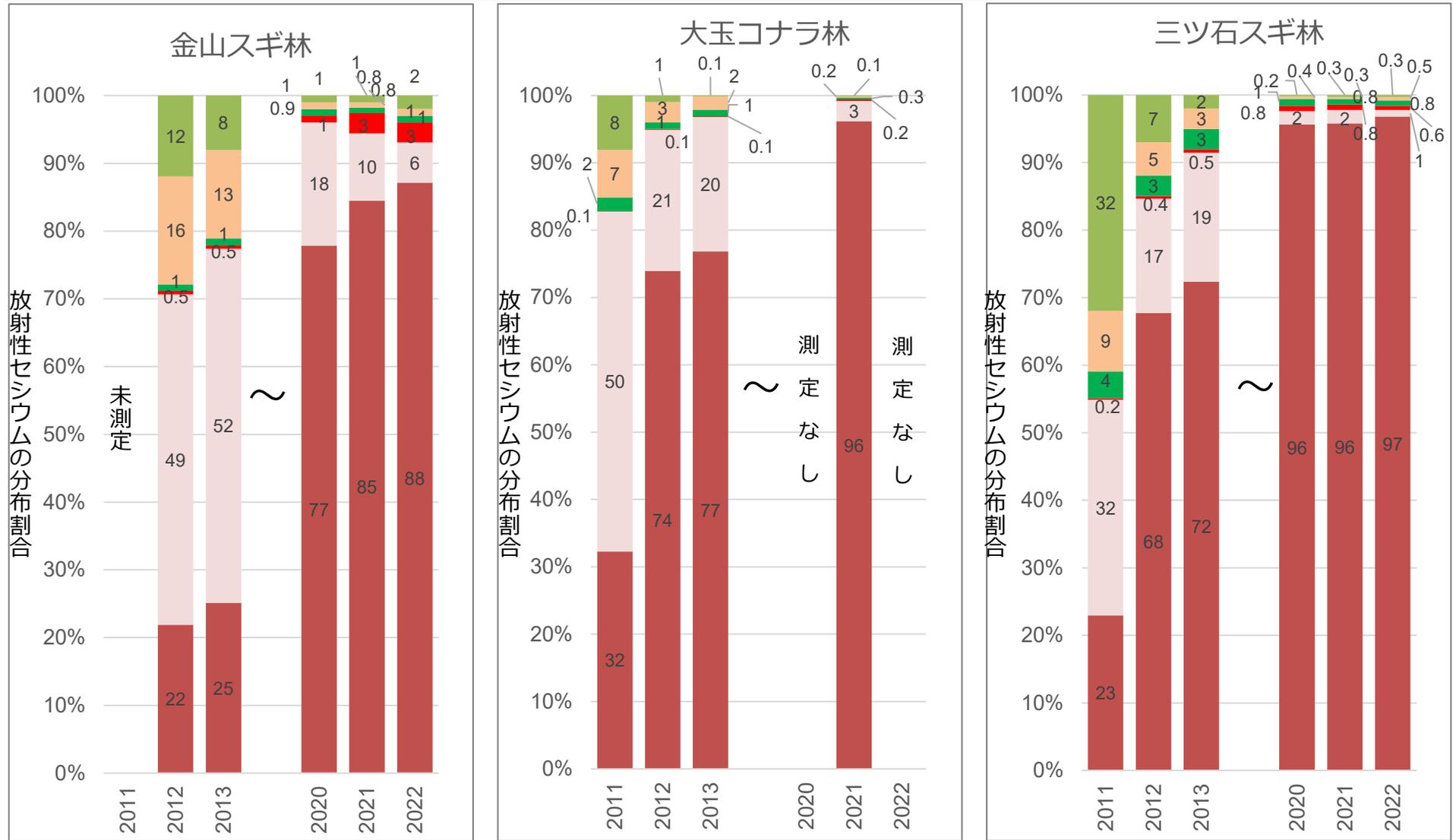
2011年8月1日現在



2023年3月1日現在

福島県「森林における放射性物質の状況と今後の予測について」より作成

森林内の放射性セシウム分布状況の変化



■ 土壌 ■ 落葉層 ■ 材 ■ 樹皮 ■ 枝 ■ 葉

林野庁「令和4（2022）年度森林内の放射性セシウム分布状況調査結果について」より作成

区分	融雪期 (3/1 ~ 4/30)		梅雨期 (5/1 ~ 7/31)		秋期 (8/1 ~ 10/31)
	全試料数	118	(342)	184	(264)
不検出※ ¹ 試料数	111	(333)	181	(260)	169
検出試料数※ ²	7	(9)	3	(4)	6
検出試料中の放射性Cs濃度 ※ ³ (最小値 ~ 最大値) (Bq/L)	1.1~5.9	(1.0~5.9)	1.0~ 13.1	(1.0~13.1)	1.1~6.8
不検出の割合	94.4%	(97.4%)	98.4%	(98.5%)	96.6%



資料：渓流水中の放射性セシウムの観測結果（2012年6月12日、9月21日、12月20日（独）森林総合研究所プレスリリース）より作成